

20161211 「ザカリヤへの約束」

目標：ザカリヤが口がきけなくなっただけでなく、そこに込められた意味を知り、主の約束を信じる姿勢を考える。

聖書箇所：ルカ 1:5~25 時間：10分

暗誦聖句：「恐れるな、ザカリヤよ、あなたの祈りが聞き入れられたのだ」（ルカによる福音書 1:13）

道具：ホワイトボード、ペン

対象者：小6×1 小5×1 小3×3 小2×2 未就園児×4

留意点：掲げられた中心テーマの答えは当該箇所には一部であり、その大部はザカリヤの不信仰と次回マリヤの信仰との対である。故に、今回は信仰者ザカリヤの不信仰に焦点を当て、次回マリヤの信仰を浮き彫りにする流れとして提示する。

段階	時間	教師から	子供に予想される反応	備考
課題確認	2分	<p>アドベントは、クリスマスでイエス様をお迎えるための準備をする期間です。イエス様が来て下さるのです。今日はザカリヤさんを通してイエス様をどのように迎えたらよいか考えていきましょう。</p> <p>ザカリヤさんは、イスラエルの神殿の祭司でした。奥さんのエリサベツさんともども、神様に喜ばれる良い人でしたが、子供が生まれず、すでに年老いていました。</p> <p>ある日ザカリヤは、神殿で香を焚くという、一生に一度しか当たらないような大変名誉な仕事に当たりました。</p>		<p>アドベントの説明をする。</p> <p>本日の目標提示。</p> <p>ザカリヤの現状を説明する。</p>
課題探究	6分	<p>ザカリヤが神殿の奥に入ったところ、主の御使いが香壇の右に立ったのです。</p> <p>御使いは何と言ったと思いますか。</p> <p>そうしたら、ザカリヤは何と返事をしたと思いますか。</p> <p>なぜ疑ったと思いますか。</p> <p>結果、ザカリヤは、祭司に一番必要な、しゃべることを取り上げられてしまいました。</p> <p>しかし、エリサベツは確かにお腹に赤ちゃんを与えられたのです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・恐れるな ・わからない ・子供が与えられるぞ ・やったー ・ありがとう ・そんなことはない ・年齢 ・子供がいない状況への慣れやあきらめ ・神様に対する不信仰 ・わからない 	<p>くじで当たったことには必要があれば触れる。</p> <p>ザカリヤはどう思っただろうかを、聞いてみると良い。恐れたとの反応は、予想外と思われるからである。神に遭うと死ぬとされているから恐れたのである。子供については出てこないと思われる。ある程度挙げさせ、教師側から提示する。のちのパプテスマのヨハネであり、旧約で約束されていた、救い主の前に送られる預言者エリヤである。</p> <p>子供の方が、ザカリヤより素直な返事をする可能性が高い。ザカリヤが疑う違和感を踏まえて、次の設問に進む。</p> <p>ザカリヤの状況を類推させるための問い。色々理由はあげうるが、結局は不信仰に問題の根がある。このことを、質問する中で浮き彫りにできればよい。</p> <p>祭司が不信仰を語るという悪を、未然に防ぐ意味があった点に触れておく。</p> <p>ここで老ザカリヤそしてエリサベツが神の言葉を信じたことは、性交渉を持ったことに最も表れているのだが、それにはCSでは触れない。神のなさった御業に焦点を向きたいからである。</p>
まとめ	2分	<p>ザカリヤは、赤ちゃんが与えられるとの良い告げ知らせを疑ってしまいました。私たちはそのようであってはいけないと思います。</p> <p>一人でも多くの人に、この良き告げ知らせを伝えていきましょう。</p> <p>暗誦聖句</p>		<p>次回は、赤ちゃんを与えられるとの告げ知らせを疑わなかった人のお話をします。</p> <p>187号のテーマからの反映。</p>

